

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI米国小型成長株ファンド（愛称：グレート・スモール）」は2022年5月25日に第5期決算を行いました。

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第5期末（2022年5月25日）

基準価額	13,218円
純資産総額	1,011百万円
第5期	
騰落率	△31.2%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBI米国小型成長株ファンド （愛称：グレート・スモール）

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第5期（決算日2022年5月25日）

作成対象期間（2021年11月26日～2022年5月25日）

 **SBI Asset Management**

**SBIアセットマネジメント株式会社**

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

（2021年11月26日～2022年5月25日）



期首：19,218円  
 期末：13,218円（既払分配金（税込み）：0円）  
 騰落率：△31.2%

（注1）当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和の縮小と金融引き締めへ転換するなか、米国国債利回りが上昇し、米ドル高円安傾向が期の後半強まったこと。

## 下落要因

- ・2021年11月～12月頃、インフレ上昇への懸念とFRBのテーパリング加速と利上げ観測が強まったこと。
- ・2022年1月～3月頃、FRBによる利上げ観測が強まり、3月に利上げが実施されるとともに量的引締め（QT）開始が示されたこと、5月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で追加利上げと6月からのQT開始が決定されたこと。
- ・2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻により地政学的リスクが強まり、制裁によりエネルギー価格上昇の景気への悪影響が懸念されたこと。3月頃から中国主要都市で新型コロナウイルス感染拡大抑制へ向けたロックダウンにより世界経済への悪影響が懸念されたこと。

## 1万口当たりの費用明細

（2021年11月26日～2022年5月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	125 ( 70 ) ( 53 ) ( 2 )	0.777 (0.436) (0.327) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  委託した資金の運用の対価  交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価  運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	15 ( 15 )	0.093 (0.093)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 )	85 ( 71 ) ( 4 ) ( 10 )	0.528 (0.439) (0.026) (0.062)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  開示資料等の作成・印刷費用等
(e) 実 績 報 酬	－	－	ファンドの運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価
合 計	225	1.399	
期中の平均基準価額は、16,138円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

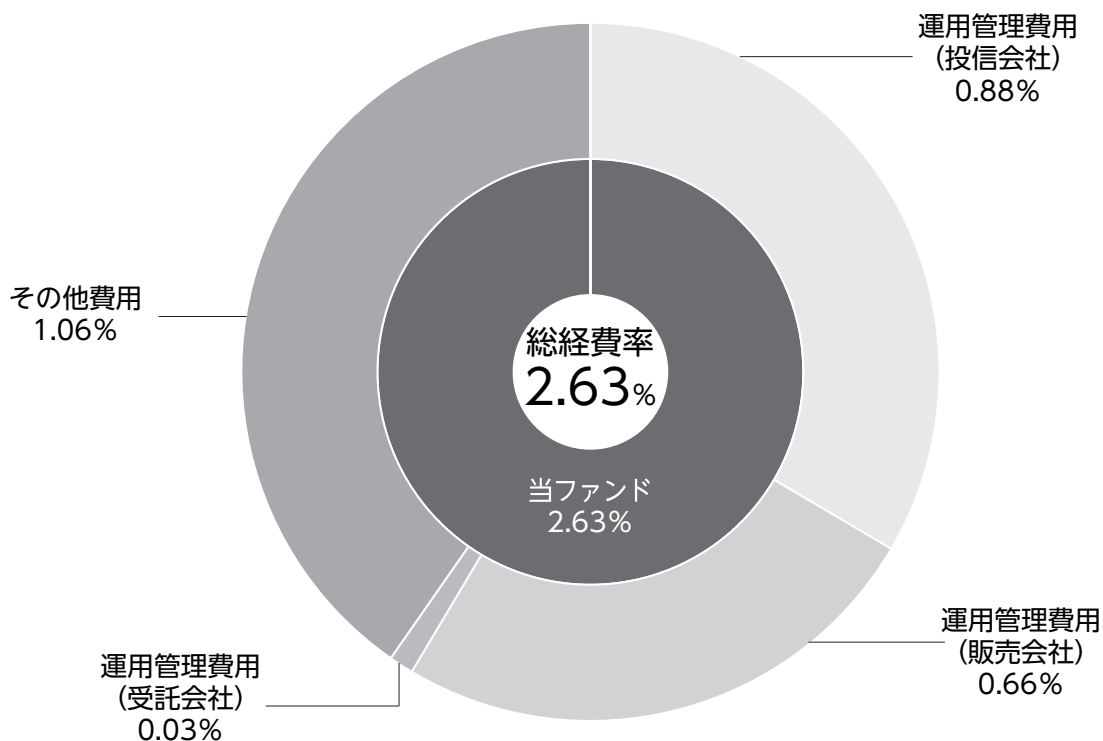
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注6) 当ファンドは実績報酬制を採用しております。なお、実績報酬は、決算期末に確定した1万口当たりの金額となりますが、当期は発生しておりません。なお、解約時に確定した金額は考慮しておりません。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.63%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

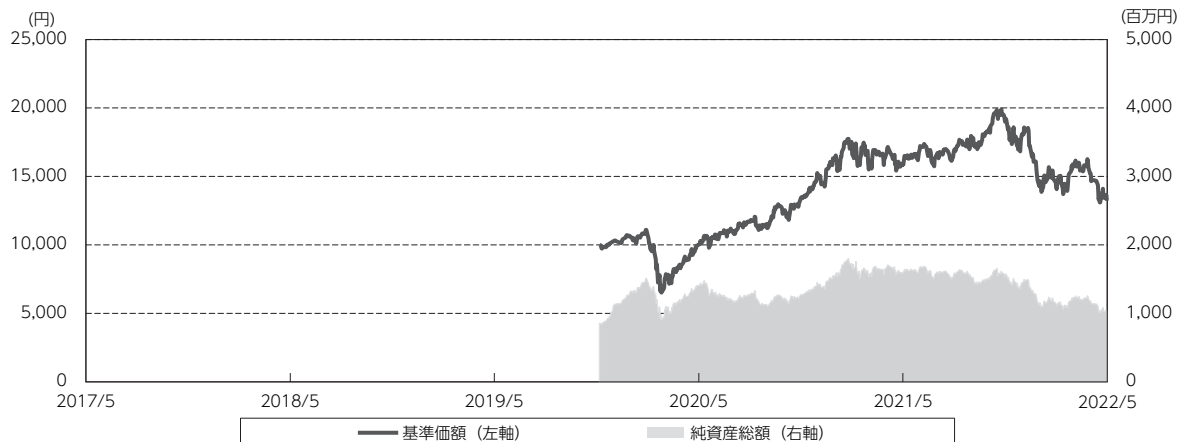
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。実績報酬は、各期末時点の運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価ですが、他の費用と同様に年率換算しております。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2017年5月25日～2022年5月25日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2019年11月29日から2022年5月25日）のみの記載となっております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

	2019年11月29日 設定日	2020年5月25日 決算日	2021年5月25日 決算日	2022年5月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,017	15,953	13,218
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	0.2	59.3	△17.1
純資産総額 (百万円)	854	1,404	1,602	1,011

(注1) 当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年5月25日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

（2021年11月26日～2022年5月25日）

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。

当期は、インフレ上昇、金利上昇、金融引き締めへの転換、コロナ禍継続と言った懸念材料が多く、非常に変動の激しい期間でした。規模別効果が大きく、米国では大型株が中型株、小型株、超小型株をアウトパフォームしました。また、バリュー株指数は引き続きグロース株指数をアウトパフォームしました。

ラッセル2000種指数、ラッセル2000種グロース指数の当期における下落率は20%弱から20%台後半となり、いわゆる弱気相場入りしました。市場は高止まりしたインフレ、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締め、利上げの景気への潜在的な影響を恐れて、大きく変動しました。2021年11月にパウエルFRB議長は金融引き締め姿勢を強めて、量的緩和縮小の加速をしました。さらに2022年の数次の利上げが示唆されました。これらは、インフレ高止まりと失業率の低下に対するFRBの反応であり、市場は敏感に反応し、小型株は弱気相場入りしました。指数で見ますと、ヘルスケア、IT、一般消費財・サービスのアンダーパフォームが特に大きくなりました。

当期、ファンドは米小型グロース株に対して、相対的にアンダーパフォームしました。IT、一般消費財・サービス、資本財・サービス、金融、必需品セクターのマイナス寄与が大きくなりました。一方、ヘルスケア、エネルギー、素材がパフォーマンスに相対的に寄与しました。

セクター別に見まして、当期、ファンドはIT、金融、一般消費財・サービスの組入れを大きく減らしました。例えば、企業ファンダメンタルの悪化、金利上昇によるバリュエーション悪化によりITセクターは大きくアンダーパフォームしました。

同様に、一般消費財・サービスでは、小売業者、消費財メーカー、住宅メーカーがマクロ的な理由で株価が低迷しました。サプライチェーン問題、インフレ高止まりに影響された企業もありますが、多くは、個人消費の悪化懸念により売られました。

ファンドは、エネルギー、素材の組入れを大きく増やしました。これらのセクターの株価は堅調でした。近年見られた投資不足、堅調な需要、ロシアのウクライナ侵攻による生産、サプライチェーンの混乱などにより商品市況は堅調となっています。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2021年11月26日～2022年5月25日）

## ＜当ファンド＞

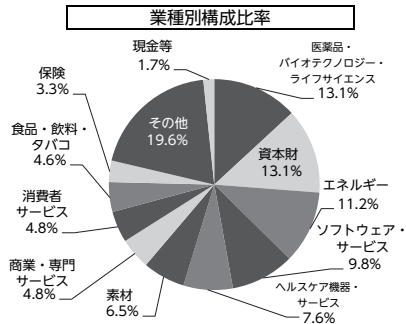
主要投資対象であるSBI米国成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

## ＜SBI米国成長株・マザーファンド＞

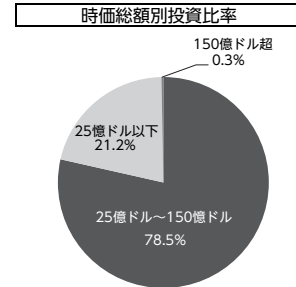
主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム（相場の勢い（強弱）や方向性を判断する指標の一つ）等に着目し、原則として80～120銘柄程度に分散投資し、運用いたしました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。



※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2021年11月26日～2022年5月25日）

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

（2021年11月26日～2022年5月25日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第5期
	2021年11月26日～ 2022年5月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,605

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

### <SBI米国成長株・マザーファンド>

当該投資信託の運用再委託先である、ドリーハウス社は、以下のようにコメントをしています。

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドの実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントが和訳・編集したものです。

### 【米国株式市場の見通し及び投資戦略】

米景気、企業業績のトレンドは期末でも強固です。高止まりしたインフレ抑制のため、米連邦準備制度理事会（FRB）が積極的な金融引き締めへ転換したことに市場は過剰に反応しています。市場が恐れているのは、FRBが需要、金融を減速させるなかで金融政策のミス、いわゆるハードランディングを発生させることです。米国の経済成長の減速が市場予想です。インフレの低下も予想されています。インフレが低下し始めればFRB、市場がともに好反応すると考えます。リスクは、経済成長がインフレの低下よりも大きく減速することです。これにより企業業績が減少します。しかしながら、コロナ禍が後退し、悪影響の多くが鎮静化するなか、今後の景気の減速やFRBの景気とインフレ過熱を調整する能力を、市場は過度に弱気に見ているように思われます。小型株の株価倍率指標が低下するなか、企業業績は史上最高水準にあります。

多くのマクロリスクや懸念があり、投資家心理は極端に弱気です。一方、強気材料を挙げますと、依然堅調な米国景気（減速が予想されていますが）、良好な企業業績、労働市場と個人のバランスシートの状況は数十年来の最高水準で個人消費を支援、1年と3ヵ月金利は順イールド、信用悪化の予兆はまだ見られないことなどで、これらは短期的な景気後退の可能性を低下させます。好悪材料が交錯するため、循環物色相場が短期的に継続すると考えます。私共は、能動的に好悪材料の変化を監視および調査し、高い収益力を有する企業やファンダメンタルのトレンドに持続性のある企業を発掘して参ります。

ポートフォリオのポジションとして、長期成長株と循環成長株を絶妙に組み合わせています。全体として、私共は積極的に銘柄の組み替えを行っており、バリュエーションを低下させています。これらの組入れ銘柄は、私共の運用哲学に即した成長の変化、差別化、市場シェアの獲得、強固な売上および利益成長を示す企業です。

## お知らせ

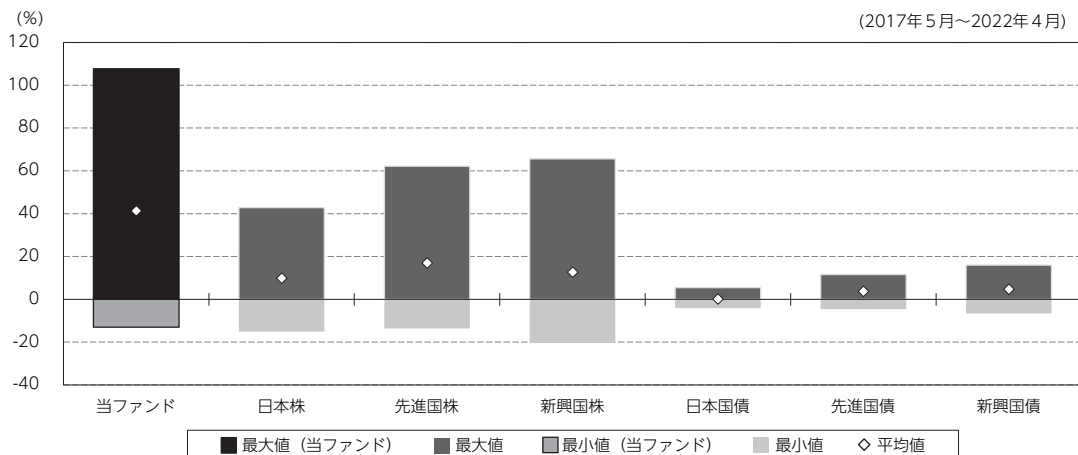
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2029年11月26日（月）まで（設定日：2019年11月29日（金））	
運用方針	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。なお、マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
	マザーファンド	原則として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分配方針	年2回（5月と11月の各25日。休業日の場合は翌営業日）決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	107.7	42.8	62.2	65.6	5.5	11.6	16.0
最小値	△ 13.0	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 4.1	△ 4.6	△ 6.6
平均値	41.3	9.9	17.0	12.7	0.1	3.7	4.7

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2017年5月から2022年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降の騰落率データが5年に満たないため、2020年11月末から2022年4月末のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

### 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

\*海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2022年5月25日現在)

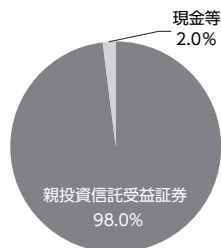
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末
SBI米国成長株・マザーファンド	% 98.0
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

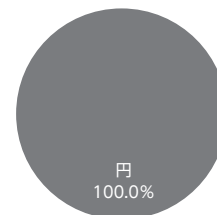
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## 純資産等

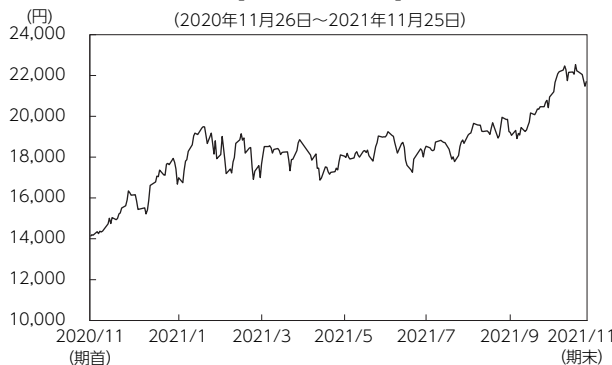
項目	第5期末
	2022年5月25日
純資産総額	1,011,538,901円
受益権総口数	765,290,751口
1万口当たり基準価額	13,218円

(注) 期中における追加設定元本額は55,114,338円、同解約元本額は107,123,838円です。

## 組入上位ファンドの概要

## SBI米国成長株・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年11月26日～2021年11月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	32円 ( 32)	0.180% (0.180)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	133 (133) ( - )	0.738 (0.738) ( - )
合計	165	0.920

平均基準価額は、17,992円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2021年11月25日現在)

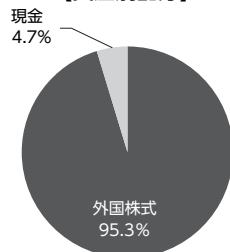
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	アンバレラ	半導体関連	米ドル	米国	2.4
2	シタイム	半導体関連	米ドル	米国	2.0
3	ブート・バーン・ホールディングス	小売	米ドル	米国	2.0
4	カリックス	ソフトウェア・サービス	米ドル	米国	1.8
5	スカイライン・チャンピオン	耐久消費財・アパレル	米ドル	米国	1.8
6	トライアンフ・バンコープ	銀行	米ドル	米国	1.8
7	バイコア	資本財	米ドル	米国	1.7
8	ラティスセミコンダクター	半導体関連	米ドル	米国	1.7
9	セルシウス・ホールディングス	食品・飲料・タバコ	米ドル	米国	1.7
10	クロックス	耐久消費財・アパレル	米ドル	米国	1.6
	組入銘柄数		104 銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

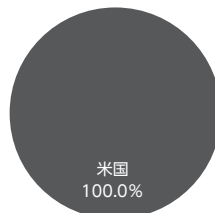
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注3) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2021年11月25日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。